

区が環境基本計画の修正を諮問… 原発事故による放射能汚染の扱いは



誰かが否定できない事実です。いまでも放射能汚染で十数万人が避難生活、土壌や水への影響も長期的かつ広範囲に及びます。しかし最初に提示された修正案には、3・

共産党区議団が求めた修正要旨

総論 3・11と原発事故は、放射能汚染、原発からの撤退と再生可能エネルギーなど環境政策で重大な問題を提起しており、第1章の計画の趣旨、基本目標なども今日的に改定する。

環境にやさしい暮らし方 「原発依存からの脱却と再生可能エネルギーの大規模な導入と環境にやさしい暮らし方は、いっそう切実な課題となっています。」などの趣旨を入れる。

安心できる大気、水、土 今回の原発事故による放射性物質による汚染の危険が、広範囲、長期間にわたることやその影響が食物にも及ぶことの危険性を指摘と十分な観測、監視体制などが必要。

…など具体的な修正提案を提出しています。

みなさんのご意見をお寄せ下さい。

西川区長は、荒川区環境基本計画の修正を諮問。環境審議会（共産党は、横山区議が委員）で議論して答申を出すことになりました。今回の諮問は、3年毎の部分的な見直しで「第3章施策の展開」だけが対象です。3・11以降の最大の環境問題が福島原発事故による放射能汚染であることは、誰もが否定できない事実です。いまでも放射能汚染で十数万人が避難生活、土壌や水への影響も長期的かつ広範囲に及びます。しかし最初に提示された修正案には、3・11も原発事故もいっさい触れず、横山委員の指摘で「安心できる大気・水・土」の項目に「災害に伴う影響」という文言（下記）が入りました。しかし放射能汚染による環境破壊の位置づけはありませんでした。今後の議論で放射能汚染問題の位置づけと対策の明記を求めています。

原発事故・放射能汚染に触れない「修正案」…放射能による環境・食品汚染も視野に入れた計画を

安心できる大気・水・土

現状と課題

区内の大気汚染調査によれば、特に光化学オキシダントについては、環境基準を達成していない年が続いています。水質については、工場、事業場からの排水については排水基準が定められて規制されていますが、河川や海の水質に対する負荷としては家庭からの排水によるものが大きいとされています。この他、有害物質を扱う事業所跡地などの土壌汚染の問題が顕在化してきています。

大気や水質の状況を監視して、排出ガスや排水への指導・啓発を行い、また、土壌汚染では原因者に対して適切な対処を促すことなどが課題です。それに加え、災害にともなう環境への影響についても、正確な情報を迅速に提供する仕組みづくりが必要とされています。

災害に伴う影響を加筆

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

468

2012年5月27日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。

裏面 指定管理者が区への返還金を遅延…など

定例法律相談

6月4日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



都電とバラ、京成電車と一緒に



19日のバラの市は、午前中に5000鉢を完売し、大変盛況だったようです。その後、目線を「バラの花」に当ててみると、都電沿線には、春爛漫・満開のバラの花が咲き誇っています。いつしか、都電とバラが町の風景として定着した間があります。少し前に荒川7丁目の踏切から京成線を眺めていると高架を電車が通過しました。その下には、当然バラの

「バラの市」も終わり都電沿線はバラが満開
鉄道に花がよく似合う…などと最近よく思うのです

花です。最近、存続の危機にさらされてる各地のローカル線は、沿線の菜の花やサクラ、レンゲを売りにしているところが多くあります。やはり鉄道と車窓の花はよく似合います。横山幸次

まちの話題あれこれ

区の施設運営を …考える



日暮里サニーホール

「指定管理者制度」とは…

以前、公の施設の管理運営は、自治体や外郭団体に限られていた。2003年に導入された指定管理者制度は、営利会社、財団法人、NPOなどに包括的に代行させる制度です（委託でなく行政処分）。そのため民間事業者が利用料を直接集めて収入にし、施設の管理・企画・運営を行うものです。

ムーブ町屋、サニーホールを運営していた 指定管理者から区への返還金950万円余が遅延

**経営破綻でも契約解除もしないで放置…？
区の責任で運営してこそ区民サービスも守れます**

区議会に日暮里サニーホール、ムーブ町屋の指定管理者だったシービーシーメソッド（以下「株CBC」）が区への「前受金」の返還を遅延していると報告がありました。サニーホール、ムーブ町屋などは当初、区がACCに運営委託、受付など「株CBC」に再委託して運営。2006年からは、区が「株CBC」を指定管理者とし区からの「管理運営費」と「利用料収入」で事業運営。利用料は、その年度だけでなく、1年先の施設予約分も利用料として入金し「前受金」となります。ところが2010年6月に実施した事業報告審査で、経営状況が悪化と中小企業診断士から指摘を受けましたが、2011年3月までの指定管理者の契約は解除せず継続。契約終了後の「前受金」は、当然返還するものです。しかし区に返還すべき950万円余が遅延する結果に。区は今年の1月から3月までの指定管理料613万円を前受金回収分にあて支払っていません。そのためか、労働者の賃金も最後の3月分が3分の1未払いになっているようです。区民サービスに支障はなかったのでしょうか。

区は、月々20万円、30万円、3～4年の分割返納を了承、5月中に「弁済契約」を締結します。指定管理者の変更が難しいとしたら区が責任を持って直接運営にあたるべきです。また、公施設の管理・運営を民間に委ねるとしても、財政効率を優先して区民サービスが低下したり、従業員の雇用が不安定にならないように自治体としての歯止めが必要です。



ムーブ町屋 ホール

町屋7丁目の尾久消防署訓練場で水防訓練 (公園用地の暫定利用)

12日、町屋7丁目の尾竹橋公園そばの尾久消防署訓練場（公園用地・特養ホーム建設現場の後 白楯円部分）で水防訓練が行われました。区役所、消防署、消防団、水道局や地元町会、自治会、災害ボランティアが参加。この間、ゲリラ豪雨や台風被害など都市部でも多発しています。訓練では、



浸水防止の水のう・土のうによる簡易工法、地下室の排水活動、マンホールの噴出防止、川の氾濫に備えての改良積土のうなどの実施訓練が行われました。

今後訓練場は、公園の工事がはじまると使えなくなります。消防機能の充実・維持に欠かせない施設ですが、今後どうなるのでしょうか。



各地の自治体で再生可能エネルギー導入… 世田谷区では「せたがやソーラーさんさん事業」

世田谷区では、区の外郭団体・世田谷サービス公社が国内の太陽光発電システムメーカー社と販売代理店契約を締結し、スケールメリットを生かし、低価格でシステムを提供する制度を実施。

戸建て住宅約1000戸分を8月から募集！

- ・あわせて、国や都の補助金申請などもサポートします。
- ・希望する区民には、区内金融機関による低利ローンの斡旋もします。

もし、世田谷区内に建っている建物全部の屋根や屋上に太陽光発電システムを設置したら…世田谷区で1年間に使う電力の40%程度をまかなえる発電量が期待できると試算しています。

事業評価は、いろいろですが、まず思い切った再生可能エネルギー導入事業の実施に踏み切ることが大事ではないでしょうか。

